

令和 7 年 11 月 27 日

令和 7 年度

全国学力・学習状況調査結果報告

札幌市立啓明中学校



全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果を検証することにより、学校における教育活動の充実や改善に役立てることを目的とした「全国学力・学習状況調査」が中学校 3 年生を対象に 4 月に行われ、国語、数学、理科の 3 教科と日常生活に関する質問紙調査結果の概要が先日、発表になりました。

生徒個人の調査結果については、本人及び保護者の皆様へ個人票を返却しておりますが、本校の結果と今後の指導改善の方向性についてお知らせいたします。

学力調査に関して

本校は、札幌市学校教育「子ども一人一人が『自分が大切にされている』と実感できる学校づくり」に学校教育目標、啓明中学校区の目指す子ども像「自分の意志を持ち、仲間とともに未来に向かって考え、行動する子」を踏まえ、今年度の実践目標「みんなが幸せになる学校づくり～学びの＜主人公＞として仲間とともに歩む生徒～」のもと、日々の実践に取り組んでいます。各教科においては、本校の研究主題である「自ら学び、ともに高め合い、共感し合う生徒の育成」を目指した授業づくりを行っています。課題を把握し、仲間との交流しながら課題解決に向けて見通しをもって学習を進めていくために、学習課題の設定を工夫し、ICTを効果的に活用しながら生徒が主体的に取り組める授業の工夫改善に取り組んでいるところです。

本校では、生徒全員が全ての教科・観点において「概ね満足できる状況」となることを重視しており、生徒一人一人が学習の定着を実感できるよう、教育相談における学習方法の指導や、長期休業中の補充的な学習会や教科相談も継続しております。

今後も引き続き、御理解、御協力を宜しくお願いいたします。

学習状況調査に関して

国数理3教科の学力調査に加え、学習に対しての意識や取組の状況、学習を中心とした子どもを取り巻く環境に関しての質問紙調査が行われました。調査の内容は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等の「生徒に対するもの」と、学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等の「学校に対するもの」です。調査結果によると、本校ではそのほとんどにおいて肯定的な回答が全国、北海道の平均と同等か上回っており、学習や生活に対して高い意識をもっている生徒が多いことがわかりました。特に顕著な例を紹介いたします。

○「自分には、よいところがあると思いますか」肯定的回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

日々の活動の中で、自己肯定感や自己有用感をもって学校生活を送っていることがうかがえます。また「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」についても肯定的な回答が全国・全道平均を上回っています。今後も様々な活動の中で、互いのよさや可能性を認め合いながら、「自分が大切にされている」と実感できるような教育活動を進めていきたいと思っています。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして課題解決方法を決めていますか」の項目では、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

上記以外の数項目「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」においても全国・全道平均を上回っています。このことは、生徒が「～したい」という意欲をもち、よりよい方法を考えて動く主体的な活動が行われていることが分かります。生徒自らが「自分たちが幸せになるための学び場（＝学校）は、自分たちで創る」という意識、さらには社会参画への意識をもって学校生活を送っているのだと思います。今後も「～したい」という生徒の意欲を継続できるよう、主体的に活動できる場面を大切にしていきたいと思っています。

○「1，2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目では、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

昨年度の回答で全国・全道平均をやや下回っていた項目ですが、今年度は大きく上回る結果となりました。さらに、「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成、情報を収集・整理することができますと思いますか」についても全国・全道平均を上回りました。課題解決に向けた学習を進めていく中で、個々の学習内容や学習進度に合わせてICT機器を活用できるよう、今後も各教科で学習内容を工夫していきたいと思っています。

○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の項目では、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

「総合的な学習の時間」では、様々な活動や体験の中で課題を見つけ、課題解決のために必要な情報を収集し、整理・分析して自分の考えをまとめることが大切です。各行事やキャリア学習等の活動の中で、仲間と交流しながら自他の意見や考えのよさを生かし、課題解決に向けて取り組んでいけるよう、今後も継続した学習展開を目指していきたいと思っています。

○「国語が好きですか」「国語の授業で、先生はあなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれますか」などの数項目で、肯定的な回答が、全国・全道平均を大きく上回っています。

学力状況調査結果からは「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべての問題においても全国平均を上回っています。今後は資料や機器を用いるスピーチやプレゼンテーション活動、自分の考えを伝える文章を書く活動、話し合い活動などの充実を図っていききたいと思います。

○数学に関して「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、書かれていないことを理解することができますか」の項目で、肯定的な回答が、全国・全道平均を大きく上回っています。

他にも、「数学の授業の内容はよくわかりますか」についても全国・全道平均を上回っています。学力状況調査結果からは、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の問題すべてにおいても全国平均を上回っています。今後は統合的・発展的に考える、新たな性質を見出す、変化やと対応の様子を調べたり予測したりする等の学習活動の充実を図っていききたいと思います。

○「理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか」の項目で、肯定的な回答が、全国・全道平均を大きく上回っています。

他にも、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」「理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか」についても全国・全道平均を上回っています。「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の問題すべてにおいても全国平均を上回っています。今後も生徒がイメージしにくいものを実物で見せる機会を増やすことで、知識を生かしながら課題解決に向けた授業内容にしていきたいと思っています。

▼「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「友人関係に満足していますか」の項目で、肯定的な回答が、全国・全道平均をやや下回っています。

昨年度は全国・全道平均を大きく上回っていた「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」ですが、今年度は平均をやや下回る結果となりました。日々の生活において生徒の様子に注視し、教育相談においても対話を大切にしているところでしたが、この結果を受け、学校にいる大人との信頼関係が高まるよう、さらに見守りに力を入れていきたいと思っています。また、「友人関係に満足をしていますか」についても、生徒が安心して学校生活を送っていけるようサポートや見守りに力を入れていきたいと思っています。

【中学国語】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 △全国平均を上回っている	・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと。	・ 必要に応じて辞典を活用しながら、様々な場面で文脈に即して漢字を正しく用いる態度と習慣を養う活動の充実。
「話すこと・聞くこと」 △全国平均を上回っている	・ 資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。	・ 資料や機器を用いるスピーチやプレゼンテーション活動の充実
「書くこと」 △全国平均を上回っている	・ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。	・ 意見文や鑑賞文など、自分の考えを伝える文章を書く活動の充実
「読むこと」 △全国平均を上回っている	・ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること	・ 文章の構成や展開についての話し合い活動や文章をまとめる活動の充実

記号の意味

(△) 上回っている	↑	
ほぼ同程度	↕	(◇) やや上回っている +3%
		(◆) やや下回っている -3%
(▼) 下回っている	↓	

← 全国平均正答率

【中学理科】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
『エネルギー』領域（物理） △全国平均を上回っている 『粒子』領域（化学） △全国平均を上回っている 『生命』領域（生物） △全国平均を上回っている 『地球』領域（地学） △全国平均を上回っている	『エネルギー』領域（物理） 仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想すること 『生命』領域（生物） スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できること 『地球』領域（地学） 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現すること	●課題探究的な学習（疑問、課題、仮説、計画、観察・実験、結果、考察、表現）の探究の過程の定着を図る。 ●学習した知識を使い、日常の課題を解決する課題で生徒実践的な思考力の育成を図る ●植物や大地の様子などを生徒がイメージしにくいものを実物で見せる機会を増やし生徒の思考の育成を図る

記号の意味

(△) 上回っている	↑	(◇) やや上回っている +3%	← 全国平均正答率
ほぼ同程度	↑↓	(◆) やや下回っている -3%	
(▼) 下回っている	↓		

【中学数学】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【区分及び領域】 「数と式」 △全国平均を上回っている 「図形」 △全国平均を上回っている 「関数」 △全国平均を上回っている 「データの活用」 △全国平均を上回っている	・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。 ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	・文字を使った説明を読んで新たな性質を見出したり、問題の条件を変えた場合を説明したりして、統合的・発展的に考えることのできるような学習活動の充実を図る。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりする学習活動の充実を図る。 ・具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして1次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり予測したりする学習活動の充実を図る。 ・場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現したり、確率を使って不確定な事象を捉え考察し表現したりする学習活動の充実を図る。

記号の意味

(△) 上回っている

ほぼ同程度

(▼) 下回っている



(◇) やや上回っている

(◆) やや下回っている

+3%

-3%

← 全国平均正答率